

ハチ刺され事前対策及び対処法

2012年10月 安全委員会

事前対策

- 1、衣類は明るい色系で長袖長ズボンでゆったりしているモノが好ましく、黒系濃紺の衣類は極力避ける。
- 2、手袋は、厚手のモノか革製がお勧めです。
- 3、ヘルメット、ゴーグル、は着用、虫除けスプレーは効果無しです。
- 4、ハチノック等は携行の事。(メーカーによって効果に差が有る)
- 5、近くにハチが居たらよく観察し(できれば種類を特定)、目印を付けて回避し、情報として当日のチーフ・事務局に伝達する。
- 6、巣の位置や大きさ、ハチの種類及び数など特定し適切に対処する。

対処法

- 1、近ずいて来たら静かに後退して様子を見る。(特に左右には移動しない)。
- 2、纏わり付かれても手で上下左右に掃ったりは、絶対しない。
* 作業中に、急に襲われたら、先ず全力で逃げる(刺されながらも)
- 3、刺されてしまったら、その場から直に安全な処に後退して、助けを呼べる状態であれば直に仲間を呼ぶ。清潔な水が有れば流水で良く洗う。流したら患部を冷しながら、医療機関(要 注射、点滴)に向う。
- 4、針が残って居たら、毛抜きで抜くか横に払い落とすこと、指では絶対摘ままない。(針を摘まむと針に残って居る毒が更に注入される場合が有る。)
- 5、患部は、口で吸い出したりつねったりせず、冷しながら安静に保つ。

特記事項

- スズメバチに刺されたときは特にアレルギー反応(アナフィラキシーショック)で気道が腫れ呼吸困難になったり血圧が下がり致命的になる場合が有ります。
- スズメバチに刺された時は、必ず医療機関での治療を望む。
- スズメバチに刺された時は、2~3日後が一番腫れると言われてます。
- アシナガバチに刺された時は、当日から翌日が一番腫れると言われてます。
- 患部は絶対に温めず、極力冷す。腫れが引くまでは飲酒は控える。